

# 雲出川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～遊水機能を確保し三重の中心地域を守る流域治水対策～

令和4年度第2回鈴鹿川外・雲出川外・  
 榑田川外・宮川外  
 流域治水協議会 資料2-2

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、雲出川流域においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 雲出川水系においては、三重県の中心地域で、農業基盤が集積するとともに、名古屋・大阪・伊勢を結ぶ公共交通網の結節点を有している地域であることから、洪水時の被害軽減に対応した遊水地整備や土地利用や住まい方の工夫などの事前防災対策を進める必要がある。
- これらの取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、戦後最大となった昭和57年8月洪水と同規模の洪水に対して下流部において安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。

## ■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・河道掘削、堤防整備、遊水地整備、横断工作物改築、無堤部対策 等
- ・君ヶ野ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：三重県など）
- ・下水道（雨水排水）施設・排水機場の整備
- ・ため池、農地等を活用した流出抑制・貯留機能の保全
- ・土砂災害対策施設の整備
- ・森林整備・保全 等

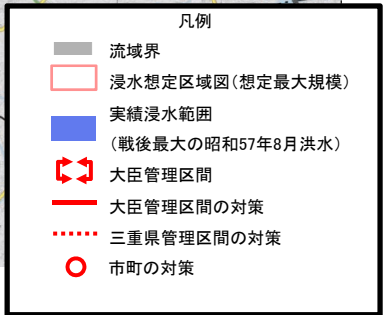
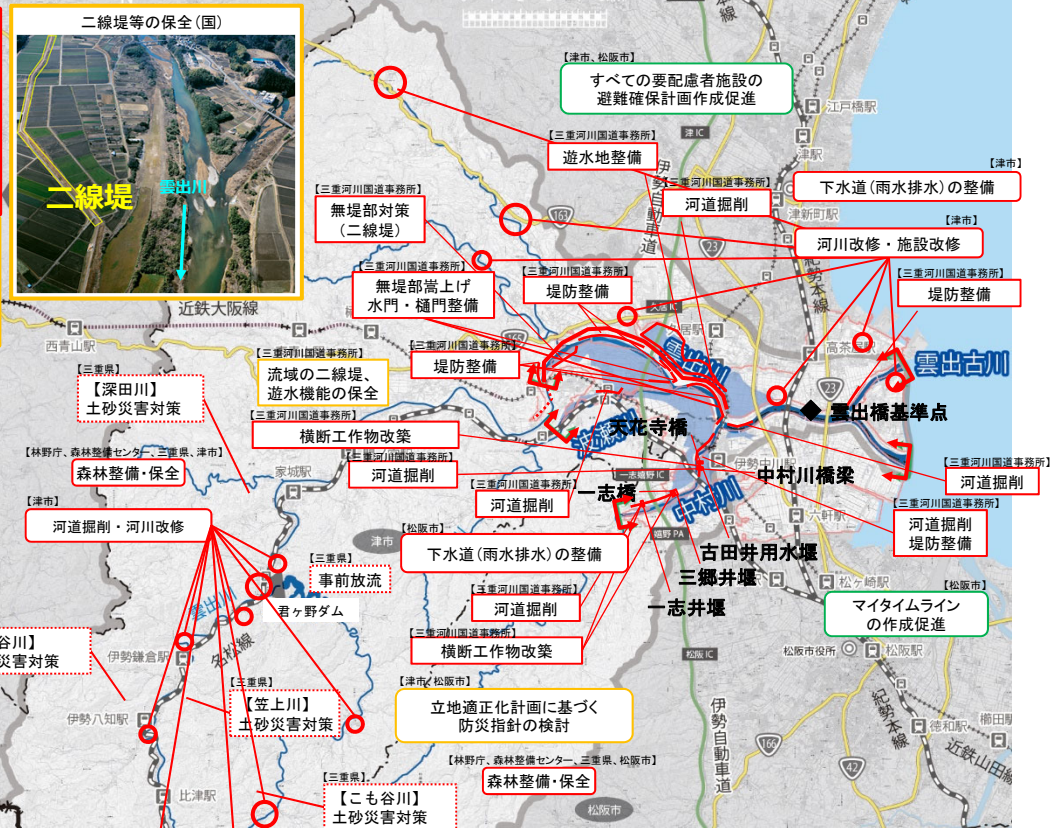
## ■ 被害対象を減少させるための対策

- ・関係者と連携し、防災・減災のための住まい方や土地利用に向けた取組を検討（立地適正化計画における防災指針の検討）
- ・二線堤、遊水機能の保全 等

## ■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・水害リスク情報の空白域の解消（洪水・内水・高潮・ため池ハザードマップなどの策定・周知）
- ・持続的な水災害教育の実施と伝承（水災害を想定した防災訓練等の実施）
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保
- ・高齢者の避難行動への理解促進（マイタイムラインなどの個人防災計画の作成）
- ・流域の水災害の早期把握に資する防災情報の提供（水位計・監視カメラ等の設置、防災気象情報の改善）
- ・企業等と連携した避難体制等の確保
- ・SNS・広報誌等を活用した継続的な情報発信 等

## ● グリーンインフラの取り組み [詳細次ページ](#)



※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

# 雲出川水系流域治水プロジェクト【グリーンインフラ】

～遊水機能を確保し三重の中心地域を守る流域治水対策～

## ●グリーンインフラの取り組み 『遊水地整備と一体となった多様な生物の生息・移動環境の保全』

- 河口部の干潟は、環境省により「日本の重要湿地500」に指定されるなど環境上重要な区間であり、塩沼植物が生育するとともに渡り鳥の中継地となっているほか、本川および支川にも豊かで多様な動植物が息づき良好な景観が形成されている等、雲出川水系は次世代に引き継ぐべき豊かな自然環境が多く存在しています。
- アユ等の生育場・産卵場の保全や支川等の緩流域への移動環境を確保するため、今後概ね20年間で遊水地整備等にあわせた多自然川づくりなどにより、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。

### ●健全なる水循環系の確保

森林整備による水源涵養機能の向上  
農業用ため池の活用、田んぼダムの活動に対する支援  
雨水貯留・浸透施設による流出抑制

### ●生態系ネットワークの形成

産物のブランド化や付加価値化の促進

### ●治水対策における多自然川づくり

整備における生物の多様な生育環境の保全  
縦断連続性の確保  
支川と本川の連続性の確保

### ●魅力ある水辺空間・賑わい創出

人と川とのふれあいの場の確保  
(雲出川緑地公園、津市リバーパーク真見)  
河川掘削土を活用した高台防災公園整備

### ●自然環境が有する多様な機能活用の取組み

営農機能等を維持した遊水地整備  
民間協働による水質調査  
小中学校などにおける河川環境学習

### 【全域に係る取組】

・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。



小中学校などにおける河川環境学習  
(三重河川国道事務所、津市)



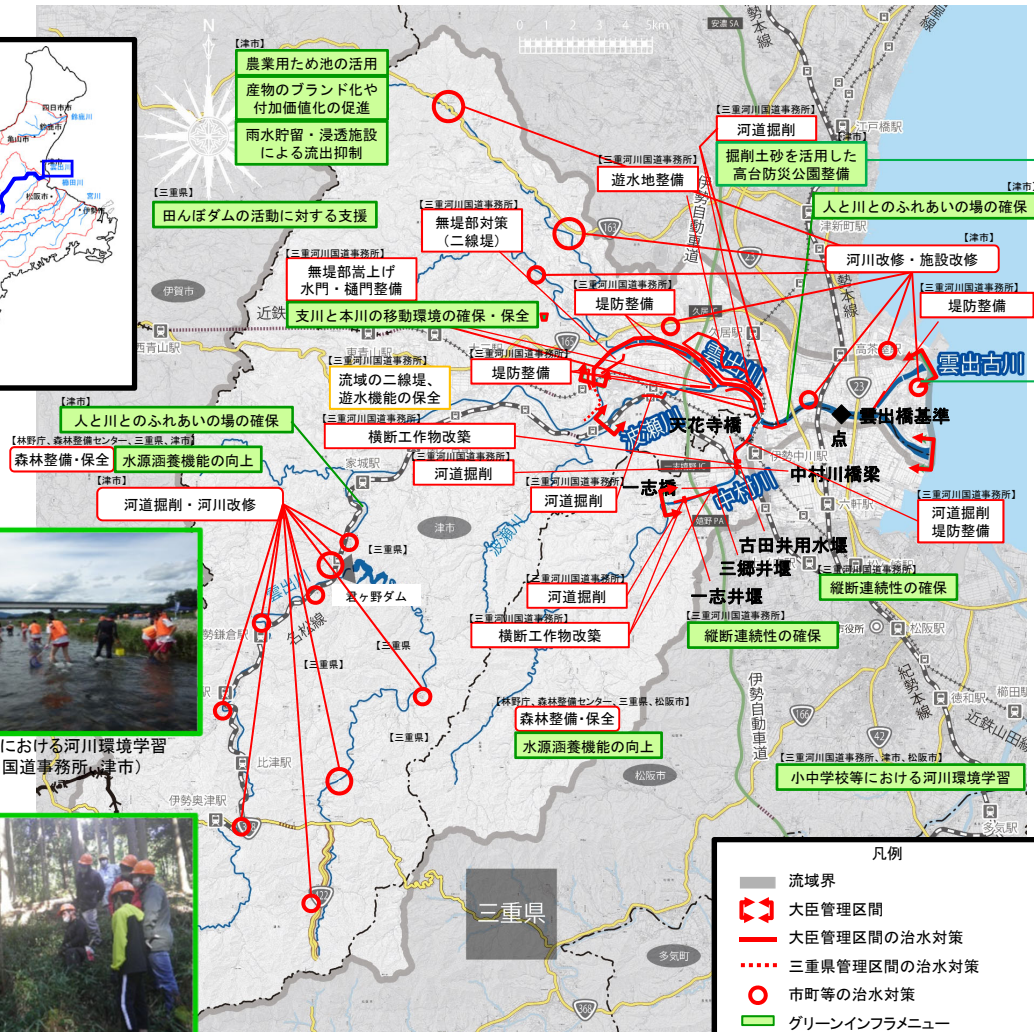
営農機能等を維持した遊水地整備  
(三重河川国道事務所)



アユ等の生育場・産卵場となる瀬の保全  
(三重河川国道事務所)



まるごと林業体験(津市)



凡例

流域界	大臣管理区間
大臣管理区間の治水対策	三重県管理区間の治水対策
市町等の治水対策	グリーンインフラメニュー

※位置図に掲載している、「氾濫をできるだけ防ぎ・減らすための対策(赤枠)」、「被害対象を減少させるための対策(黄枠)」は、グリーンインフラを兼ねた取組である。

# 雲出川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～遊水機能を確保し三重の中心地域を守る流域治水対策～

■ 雲出川の上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市、あらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】津・松阪市街地等での重大災害の発生を未然に防ぐため、中下流部で水位低下を目的とした河道掘削、堤防整備等を主に実施。被害軽減のため、水害リスク情報の空白域解消等を実施。

【中期】津・松阪市街地等で重大災害の発生を未然に防ぐため、中流部左岸遊水地整備、堤防整備を主に実施。被害軽減のため、防災・住まい方や土地利用に向けた取組の検討やマイタイムライン作成など避難行動の理解促進に向けた取組等を継続的に実施。

【中長期】上流域や支川の浸水被害を防ぐため、横断工作物改築、河道掘削等を実施し、流域全体の安全度向上を図る。被害軽減の取り組みをあらゆる関係者と一体となって継続的に実施。

## 【ロードマップ】

区分	対策内容	実施主体	工程			
			短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	○洪水氾濫対策 ・河道掘削、堤防整備、堤防強化、横断工作物改築等 ・遊水地整備	三重河川国道事務所、三重県、津市	下流部河道掘削・堤防整備+中流部堤防整備		上流部及び支川河道掘削・堤防整備	
	○内水氾濫対策 ・下水道施設の整備、調整池整備、排水ポンプ場の整備	津市、松阪市	雲出川遊水地整備完了			
	○土砂災害対策 ・砂防関係施設の整備	三重県				
	○洪水の貯留機能の拡大 ・君ヶ野ダムにおける事前放流等の実施、体制構築	三重県				
	○流域の雨水貯留機能の向上 ・田んぼダムの活動に対する支援 ・森林整備・保全 ・ため池等の活用	林野庁、森林整備センター、三重県、津市、松阪市	田んぼダムの活動に対する支援		森林整備・保全	
	被害対象を減少させるための対策	○水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫 ・住まい方や土地利用に向けた取組の検討	三重県、津市、松阪市	立地適正化計画における防災指針の検討		
○浸水範囲の限定・氾濫水の制御 ・二輪堤、遊水機能の保全		三重河川国道事務所				
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	○土地の水災リスク情報の充実 ・水害リスク情報の空白域の解消 (洪水・内水・高潮・ため池HM策定・周知)	三重河川国道事務所、気象庁、三重県、津市、松阪市 他 あらゆる関係者	洪水予報及び水位周知河川以外の法河川における浸水想定区域図の作成			
	○避難体制等の強化 ・持続的な水災啓蒙の実施と伝承 ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保 ・高齢者の避難行動への理解促進 ・地域の防災力の早期把握に資する防災情報の提供 ・企業等と連携した避難体制等の確保 ・SNS・広報誌等を活用した継続的な情報発信		ハザードマップの作成・更新			
グリーンインフラ	○生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの作成 ・産物のブランド化や付加価値化の促進	津市	ため池の適正な管理・整備(津市)			
	○健全なる水循環系の確保 ・森林整備による水源涵養機能の向上 ・農業用ため池の適正な管理と整備 ・田んぼダムの活動に対する支援 ・雨水貯留・浸透施設による流出抑制	林野庁、森林整備センター、三重県、津市、松阪市	森林整備・保全(林野庁、森林整備センター、三重県、津市、松阪市)			
	○治水対策における多自然川づくり ・整備における生物の多様な生育環境の保全 ・縦断連続性の確保 ・支川と本川の連続性の確保	三重河川国道事務所、三重県、津市	香良洲高台防災公園整備完了(津市)			
	○魅力ある水辺空間・暮らしの創出 ・人と川とのふれあいの場の確保 ・河川揚土を活用した高台防災公園整備	津市				
	○自然環境が有する多様な機能活用の取組み ・産業機能等を維持した遊水地整備 ・民間協働による水質調査 ・小中学校などにおける河川環境学習	三重河川国道事務所、津市、松阪市				

## 【事業費】

- 河川対策 ※水系で策定済みの河川整備計画の残事業を記載  
全体事業費 約240億円  
対策内容 河道掘削、堤防整備、遊水地整備等
- 下水対策 ※各市町の下水道事業計画の残事業を記載  
全体事業費 約85億円  
対策内容 下水道施設の整備、調整池整備、ポンプ場整備



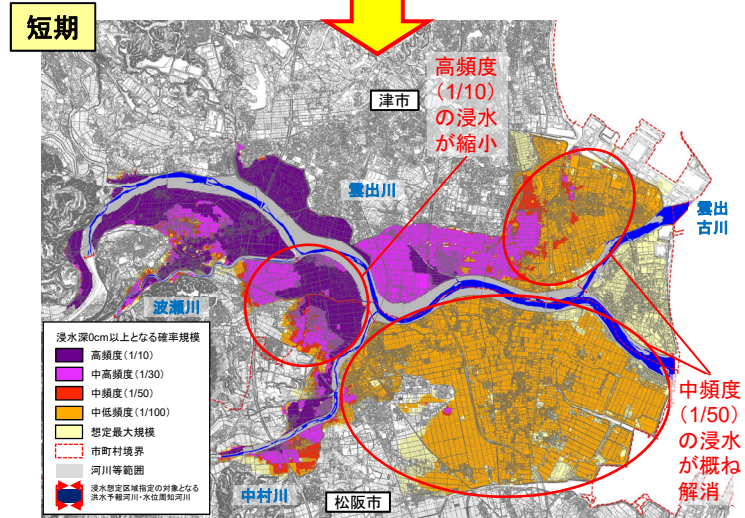
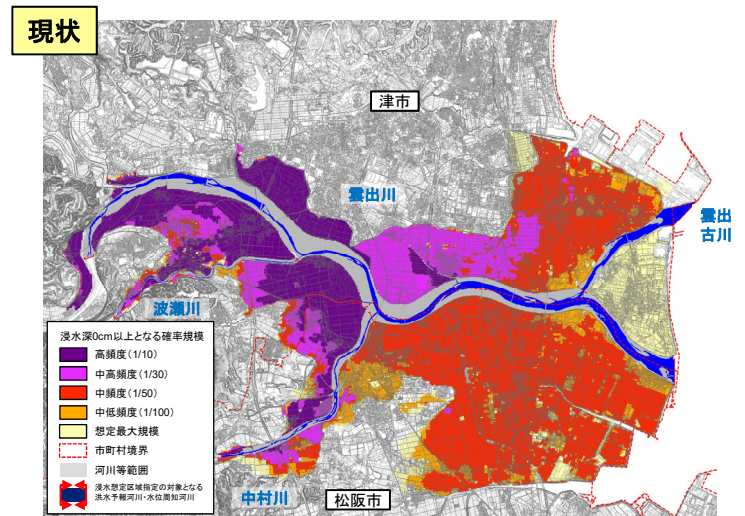
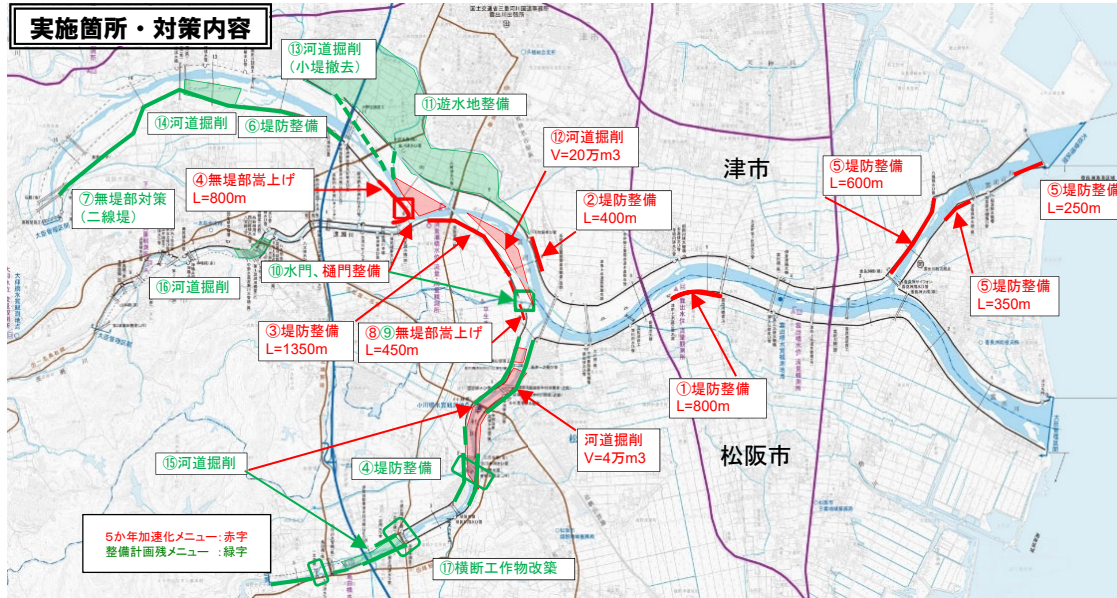
※各工程段階の実施内容は今後の事業進捗によって変更となる場合があります。  
※各対策の旗揚げは代表的な事例を示しています。

# 雲出川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～遊水機能を確保し三重の中心地域を守る流域治水対策～

○ 雲出川下流部における河道掘削や堤防整備をR7に完了することで、戦後最大の昭和57年8月洪水と同規模の洪水に対して、中村川合流点より下流部の津・松阪市街地において概ねHWL以下で流下させることが可能。

**短期整備（5カ年加速化対策）効果：河川整備率 約49%→約51%**



区分	対策内容	区間	工程		
			短期 (R3~R7年度) 1/5~1/5	中期 (R8~R18年度) 1/5~1/5	中長期 (R19~R26年度) 1/5~1/15
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	堤防整備	①舞出地区	100%		
		②木造地区	100%		
		③須賀瀬地区	100%		
		④中村川		100%	
		⑤高峯・川原地区		100%	
		⑥庄村・庄田地区			100%
		⑦無堤部対策 (二線堤)			100%
		⑧右岸 無堤部 堤防嵩上 (1)	100%		
		⑨右岸 無堤部 堤防嵩上 (2)		100%	
		⑩右岸 水門・樋門等	30%	100%	
河道掘削	⑪左岸 遊水地	5%	100%		
	⑫須賀瀬地区	100%			
	⑬小戸木地区 (小堤撤去)			100%	
	⑭上流部			100%	
横断工作物改築	⑮中村川	30%		100%	
	⑯波瀬川			100%	
	⑰波瀬川			100%	

**【短期整備完了時の進捗】**

- ①舞出地区 堤防整備 38%→100%
- ②木造地区 堤防整備 0%→100%
- ③高峯・川原地区 堤防整備 0%→100%
- ④右岸 無堤部 堤防嵩上 0%→100%
- ⑤右岸 水門・樋門等 0%→30%
- ⑥左岸 遊水地整備 0%→5%
- ⑦須賀瀬地区 河道掘削 0%→100%
- ⑧中村川 河道掘削 0%→100%

- ・ 外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合があります。また、この確率以下の洪水においても、浸食等により破綻する可能性があります。
- ・ 短期の図については、国直轄事業の実施による効果です。
- ・ 本資料は、調整中のものであり、今後事業進捗等により変更が生じる可能性があります。

# 雲出川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～遊水機能を確保し三重の中心地域を守る流域治水対策～

<p>戦後最大洪水等に対応した河川の整備（見込）</p>  <p><b>整備率：51%</b> (概ね5か年後)</p>	<p>農地・農業用施設の活用</p>  <p><b>1市町村</b> (令和4年度末時点)</p>	<p>流出抑制対策の実施</p>  <p><b>0施設</b> (令和3年度実施分)</p>	<p>山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策</p>  <p>治山対策等の実施箇所 <b>0箇所</b> (令和4年度実施分) 砂防関連施設の整備数 <b>2施設</b> (令和4年度完成分) ※施行中 2施設</p>	<p>立地適正化計画における防災指針の作成</p>  <p><b>0市町村</b> (令和4年12月末時点)</p>	<p>避難のためのハザード情報の整備</p>  <p>洪水浸水想定区域 <b>40河川</b> (令和4年9月末時点) ※一部、令和4年3月末時点 内水浸水想定区域 <b>1団体</b> (令和4年9月末時点)</p>	<p>高齢者等避難の実効性の確保</p>  <p>避難確保計画 洪水 <b>550施設</b> 土砂 <b>58施設</b> (令和4年9月末時点) 個別避難計画 <b>0市町村</b> (令和5年1月1日時点)</p>
---	--	---	--	---	--	---

## 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

### 河道掘削および高台防災公園の整備連携

【三重河川国道事務所・津市】

施工後



雲出川



香良洲高台防災公園(イメージ)

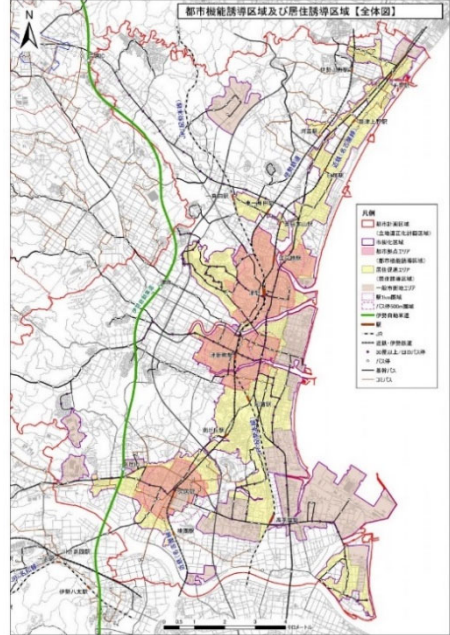
基盤整備に掘削土を活用

- 河川整備計画目標流量を安全に流下させるために、河道掘削や樹木伐採を行い水位低下を図る。
- R4年度には、約3.2万m<sup>3</sup>の掘削工事を実施し、R7年度までに当該地区において約20万m<sup>3</sup>の掘削を実施予定。
- 河道掘削土砂を高台防災公園の基盤整備に流用。

## 被害対象を減少させるための対策

### 立地適正化計画における防災指針の作成検討

【津市】



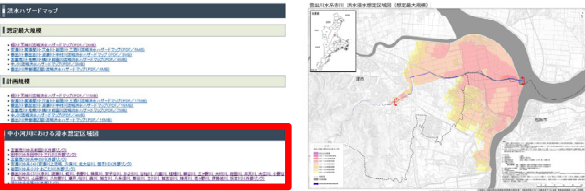
都市機能誘導区域及び居住誘導区域【全体図】

- 近年の自然災害の頻発・激甚化を踏まえ、災害リスクを踏まえた防災まちづくりを進めることが重要である。
- 都市再生特別措置法等の一部を改正する法律(R2.9.7施行)に伴い、新たに立地適正化計画の居住誘導域内で行う防災対策・安全確保対策を定める「防災指針」の作成を実施する。

## 被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

### 新たに指定された中小河川における浸水想定区域図の公表

【津市】

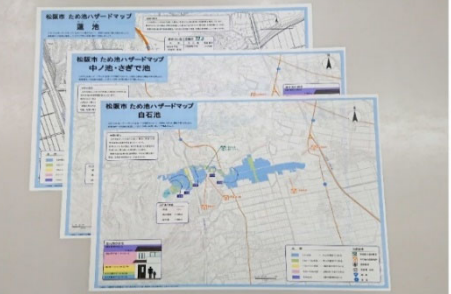


中小河川における浸水想定区域図

- R4年5月に三重県より指定された雲出川水系31河川の浸水想定区域図を津市のHP上でも公表することで円滑かつ迅速な避難等が行われるよう住民に周知を図った。

### 水害リスクの空白域解消(ため池ハザードマップ作成)

【松阪市】



- 防災重点農業用ため池を有する自治会に、ため池堤体の崩壊による浸水区域を示したハザードマップを配布